

津久戸

令和4年3月1日

3月号 新宿区立津久戸小学校

未来を生きる力

校長 牧田 健一

早いもので今年度も、いよいよ残すところ17日(登校日)となりました。児童は心も体も確実に成長し、新学年に向けての力も付けております。ここまで大きな事故やけがもなく、過ごすことができたのも保護者の皆様、地域の皆様のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

また、年度末に5週間にわたる分散登校となり、皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。おかげさまで分散登校中の学級閉鎖等の臨時休業をせず3月を迎えられました。重ね重ね皆様のご協力に感謝申し上げます。今後も感染症への対応はしっかりと行っていきますが、児童の教育活動についても、しっかりと丁寧に行っていきます。教職員には、こういう時こそ冷静に、落ち着いて、いつも通りを徹底させていきます。児童の動揺を誘わないようにしていきます。

新型コロナウイルスの感染が全世界に広がり2年がたとうとしています。これまでに経験したことがない事態や状況に多くの方々が尽力してきました。そして今後も未知の問題と向かい合う必要が出てくることは間違いないと考えています。私たちは、今までの経験や知識、体験を基にして問題解決に挑んできたわけですが、これからはそれすらも通用しない世の中になってくる可能性が高くなっています。では、何が大切なのかといえば、教科書や参考書にのっていない問題に主体的に取り組み解決した体験ではないかと考えています。当然その学習の中には、様々な人との関わりや対話が必要であり、自ら考えること、今までの学びの活用等、様々な力を全開で発揮し、達成感や成功体験を数多くしていくことだと思っています。今年度、総合的な学習の時間を中心とした研究発表会を行いました。総合的な学習の時間は、子どもたち一人ひとりが何も無いところから、イメージを膨らませ、今まで見てきたものや聞いたことを基に、探究を深めていく学習です。「0」(ゼロ)から新しいものや考えを生み出す、創り出す力が必要なのです。今後も、子どもたちの主体的な活動を多く取り入れ、津久戸の子どもたちが将来にわたって力強く生きていく力を身に付けさせたいと考えています。

話は変わりますが、最後に3月11日で東日本大震災から11年がたちます。けして忘れてはならない大きな災害でした。保護者・地域の皆様もあの地震を忘れず、被災して亡くなった方々の冥福を祈るとともに災害に対する備えを怠らないようにしてください。

3年間の研究の成果

「校内研究」は、子どもたちによりよい学習の機会を提供するために、私たち教員が授業改善に向け取り組んでいくことを言います。津久戸小学校では「ワクワク・ドキドキ心を働かせる児童の育成」を主題に、1・2年生は生活科、3年生以上は総合的な学習の時間を研究教科・領域に指定して、3年間、研究を続けてきました。11月12日には、3年間の研究の成果を、区内の先生方へオンラインで配信しました。

津久戸小学校では、「津久戸の地域に育つわたしたち」をテーマに、各学年が地域と関わった学習を続けてきました。どの学年も、地域を材とした単元を構築できたことが、3年間の研究の大きな成果です。私たち教員も、全学年の児童が、様々な形で地域と関わり、多くの体験をできたことが、児童の学習に対する主体性を促し、児童一人ひとりが心を働かせて学習に取り組むことを実感できました。

生活・総合の研究は、これで一区切りとなりますが、次年度以降も、津久戸小学校の特色となる生活科・総合的な学習の時間の学習は続きます。児童がどんな発見をするのか、楽しみです。

給食室より

2021年の流行語にも選ばれた「黙食」。新型コロナウイルス感染症対策として本校でも定着してきました。会話が無く、多少窮屈な時間ではありますが、マイナス面ばかりではありません。

学校給食での「共食」には、「楽しく、おいしく食べる」ということの他に、児童が「友達や先生を見て学ぶ」というメリットがあります。その反面、「共食」ではおしゃべりをはじめると夢中になり、給食に集中できなくなるというデメリットもあります。本校でもそうした状況を改善すべく、食べ始めて5分間は黙って食べる「もぐもぐタイム」を設けていました。

ともすると食欲を満たすためだけになりがちな食事ですが、見方を変えると命のやりとりでもあります。また、静かに食するという行為は、味覚を養い、食べることに向き合う貴重な時間とも言えます。食べている食材の味を感じ取り、お昼の放送やおいしいおたよりに耳を傾け、自分が何を食べているのか、きちんと認識する時間にしてほしいと思います。「黙食」だからこそ、得られた時間を有意義に活用できたらと考えています。



【学年の窓から・・・6年生】

1 組担任

三学期早々に分散登校が始まり、気付けば卒業まで4週間足らず。学級、学年全体で過ごした時間はほとんどありませんでした。それでも、休み時間に笑顔で遊ぶ姿、体育のサッカーで全力でボールを追いかける姿、調べ学習でパソコンや資料に向かう姿に、パワーを感じました。また、先日リモート学習で行った国語の「思い出を言葉に」では、中止になった行事が多かったにもかかわらず、日常の出来事を思い出として挙げていることに適応力の高さを感じました。子どもたちの姿から「嘆いてられない。私もがんばろう！」という気持ちになれました。卒業式までの登校日はあとわずか17日。卒業文集の作成、卒業式の練習、移動教室代替行事のよみうりランド、友達と過ごす日常等々、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

2 組担任

休校、分散登校、学校行事の中止、休み時間の制限、給食の時間の黙食、慣れないタブレットでの授業…。子どもたちはそんな生活を余儀なくされる2年間をよく頑張ったと思います。いま、子どもたちは移動教室の代替行事である遠足が実施されることを心から願っています。それは、ただ遊園地に行つて遊びたいという思いではないのです。みんなと一緒に活動をしたい、みんなと一緒に思い出を作りたいという気持ちに溢れています。私は移動教室や夏季施設などへ行くことで築かれる友情や成長があるのと同じように、コロナ禍だからこそ気付いたクラス・学年・学校生活への思いや心の成長もあったのではないかと考えています。コロナ禍で学校行事が思うようにできなかった、そんな現実もプラスに変えて卒業を迎えられるように、残り一か月を過ごしていきたいと思います。

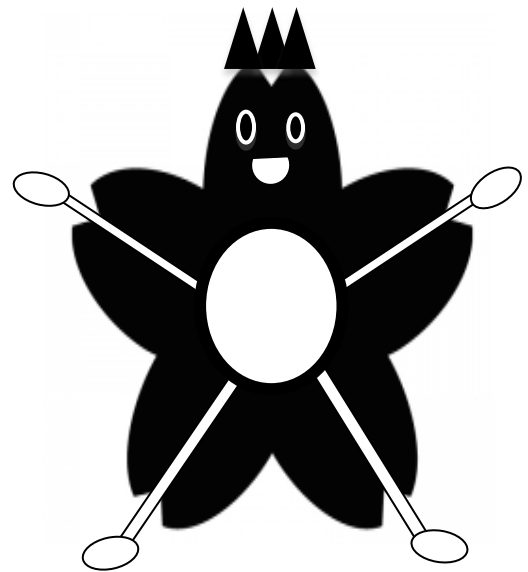
3月の生活目標

『人の気持ちを大切にしよう』

- ・感謝の気持ちをあらわそう。
- ・みんなでなかよく遊ぼう。
- ・心をこめてあいさつをしよう。
- ・一年間のまとめをしよう。



卒業・学年のまとめの時期になりました。生活面、学習面を振り返り、できるようになったこと、もっと頑張りたいことを意識して、4月からの新しい年度につなげましょう。
(生活指導部)



◎朝学習

- ※避難訓練を予告なしでいずれかの日に実施します。
- ※金管バンドクラブの発表は状況を見て実施します。